



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社

コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 畠山 督 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,351	0.9	△378	ー	△409	ー	△458	ー
2019年3月期第1四半期	5,304	12.9	51	ー	141	ー	△32	ー

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △458百万円 (ー%) 2019年3月期第1四半期 △111百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△50.92	ー
2019年3月期第1四半期	△3.61	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,819	14,695	37.1
2019年3月期	41,645	15,261	35.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,414百万円 2019年3月期 14,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
2020年3月期	ー				
2020年3月期(予想)		12.00	ー	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△0.1	2,000	8.5	1,900	2.6	1,200	9.7	133.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	9,758,947株	2019年3月期	9,758,947株
2020年3月期1Q	746,520株	2019年3月期	746,475株
2020年3月期1Q	9,012,439株	2019年3月期1Q	8,961,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化により中国経済の減速が鮮明となり、米国経済も下振れリスクが高まりました。欧州においても英国のEU離脱問題や、イタリア、ドイツの景気後退により先行き不透明感が高まり、総じて世界経済減速への警戒感が広がりました。

日本経済においては、海外経済の減速により製造業を中心に減速傾向となり、総じて景気は横ばいの状態で推移しました。

当社の属する業界については、FPD業界は、当社が主力市場としている中国を中心として展開されており、需要は時期的な強弱はあるものの、旺盛な需要を維持し、横ばいで推移しております。半導体業界は、世界的なIT需要の停滞や半導体メモリーメーカーの投資抑制の動き等から短期的には下振れリスクが高まっておりますが、年度後半あたりからの回復が見込まれております。

このような経済状況のもとで当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と販売に努めてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高53億51百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業損失3億78百万円（前年同四半期は営業利益51百万円）、経常損失4億9百万円（前年同四半期は経常利益1億41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億58百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、グループ会社の業態に基づいて区分変更し、従来の事業を「メカトロニクス関連事業」、「ディスプレイ関連事業」、「産業機器関連事業」及び「電子機器関連事業」へ再編しております。

これに伴い、以下に記載のセグメントごとの経営成績の前年同四半期比は、変更後のセグメント区分で組み替えた前年同四半期実績をもとに算出しております。

詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

(メカトロニクス関連事業)

ハードディスク関連及び太陽電池関連は好調に推移しましたが、電子部品市場の冷え込みの影響によりキャリアテープの販売が低調となり、業績は横ばいで推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は18億33百万円（前年同四半期比8.0%増）となり、セグメント損失は80百万円（前年同四半期はセグメント損失1億15百万円）となりました。

(ディスプレイ関連事業)

アニール装置の販売が好調に推移しました。一方ウェットエッチング装置については収益性が低いことから慎重な販売方針で臨んだため低調となり、売上高は横ばいで推移しました。利益面では、一部案件においてコストが増大しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は16億51百万円（同4.5%減）となり、セグメント損失は2億61百万円（前年同四半期はセグメント損失94百万円）となりました。

(産業機器関連事業)

国内向けクリーニング装置の需要は減少傾向が続いておりますが、近年急速に需要が拡大している中国向けの販売を強化したことにより、業績は底堅く推移しました。

これらの結果、産業機器関連事業の売上高は4億49百万円（同46.3%増）、セグメント損失は14百万円（前年同四半期はセグメント利益10百万円）となりました。

(電子機器関連事業)

電力会社向け計測装置の大口需要が一巡したため、業績は低調に推移しました。

これらの結果、電子機器関連事業の売上高は14億16百万円（同9.8%減）、セグメント損失は43百万円（前年同四半期はセグメント利益85百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は302億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億45百万円減少しました。主な増加要因は仕掛品3億12百万円、原材料及び貯蔵品1億20百万円であり、主な減少要因は受取手形及び売掛金21億13百万円、現金及び預金7億72百万円、有価証券2億58百万円であります。固定資産は86億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少しました。主な減少要因は建設仮勘定2億20百万円であります。その結果、総資産は388億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億25百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は157億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億18百万円減少しました。主な増加要因は短期借入金2億56百万円、未払費用1億8百万円であり、主な減少要因は支払手形及び買掛金16億65百万円でありま
す。固定負債は83億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億40百万円減少しました。主な減少要因は長期
借入金4億15百万円であります。その結果、負債は241億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億59百万円
の減少となりました。

(純資産)

純資産は146億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億66百万円減少しました。その結果、自己資本比率
は37.1% (前連結会計年度末は35.9%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、2019年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想
値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,032	7,260
受取手形及び売掛金	14,366	12,253
有価証券	258	0
商品及び製品	752	859
仕掛品	6,952	7,264
原材料及び貯蔵品	1,264	1,384
その他	1,422	1,366
貸倒引当金	△186	△172
流動資産合計	32,863	30,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,632	4,870
減価償却累計額	△2,824	△2,873
建物及び構築物 (純額)	1,808	1,996
機械装置及び運搬具	2,002	2,002
減価償却累計額	△1,509	△1,543
機械装置及び運搬具 (純額)	492	459
工具、器具及び備品	3,218	3,232
減価償却累計額	△2,713	△2,750
工具、器具及び備品 (純額)	505	481
土地	3,563	3,563
リース資産	227	226
減価償却累計額	△84	△86
リース資産 (純額)	143	140
建設仮勘定	390	170
有形固定資産合計	6,904	6,812
無形固定資産		
のれん	425	392
ソフトウェア	80	84
リース資産	39	36
電話加入権	18	18
その他	4	4
無形固定資産合計	568	536
投資その他の資産		
投資有価証券	227	219
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	917	862
長期滞留債権等	195	195
その他	200	191
貸倒引当金	△234	△217
投資その他の資産合計	1,309	1,252
固定資産合計	8,781	8,601
資産合計	41,645	38,819

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,157	6,491
短期借入金	5,780	6,036
リース債務	59	52
未払法人税等	478	—
賞与引当金	446	336
製品保証引当金	134	130
未払費用	470	579
前受金	1,739	1,588
その他	280	512
流動負債合計	17,547	15,729
固定負債		
社債	700	700
長期借入金	6,571	6,155
長期未払金	88	82
リース債務	141	144
繰延税金負債	100	67
退職給付に係る負債	1,127	1,137
資産除去債務	75	75
その他	30	30
固定負債合計	8,835	8,395
負債合計	26,383	24,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	3,630	3,630
利益剰余金	9,436	8,887
自己株式	△638	△638
株主資本合計	15,230	14,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	7
為替換算調整勘定	△277	△268
退職給付に係る調整累計額	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	△269	△266
新株予約権	51	51
非支配株主持分	249	228
純資産合計	15,261	14,695
負債純資産合計	41,645	38,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,304	5,351
売上原価	4,167	4,577
売上総利益	1,136	774
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	430	432
賞与引当金繰入額	56	59
福利厚生費	21	20
賃借料	43	43
業務委託費	30	28
研究開発費	104	117
減価償却費	62	55
その他	336	395
販売費及び一般管理費合計	1,084	1,153
営業利益又は営業損失(△)	51	△378
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	41	19
為替差益	55	—
受取賃貸料	3	3
その他	5	13
営業外収益合計	110	39
営業外費用		
支払利息	14	23
為替差損	—	41
その他	6	4
営業外費用合計	21	69
経常利益又は経常損失(△)	141	△409
特別利益		
固定資産売却益	0	0
有価証券売却益	60	—
その他	8	—
特別利益合計	69	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
その他	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	210	△409
法人税、住民税及び事業税	165	17
法人税等調整額	72	33
法人税等合計	237	51
四半期純損失(△)	△27	△461
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32	△458

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△27	△461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	△6
為替換算調整勘定	△34	8
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	△83	2
四半期包括利益	△111	△458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△116	△455
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,697	1,729	307	1,570	5,304	—	5,304
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	0	9	20	30	△30	—
計	1,697	1,729	317	1,590	5,335	△30	5,304
セグメント利益 又は損失(△)	△115	△94	10	85	△114	166	51

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額166百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等244百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△78百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニクス 関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,833	1,651	449	1,416	5,351	—	5,351
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	0	—	0	1	△1	—
計	1,833	1,652	449	1,416	5,353	△1	5,351
セグメント利益 又は損失(△)	△80	△261	△14	△43	△399	20	△378

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額20百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等197百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△176百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間より、グループ会社を業態に基づいて4つの事業に再編致しました。

その結果、従来の報告セグメント区分を「メカトロニクス関連事業」、「ディスプレイ関連事業」、「産業機器関連事業」及び「電子機器関連事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。